

## 研究計画書

ゼミ名	石田ゼミⅡ	チーム名	ジャンジャン
タイトル	投資信託は運用コストに見合ったパフォーマンスができていますか？		
テーマ群	b)財政・金融		
メンバー	高田克洋 渡邊博彰		
研究計画内容	<p>私たちが今回テーマに取り上げたのは「投資信託が本当にコストに見合ったパフォーマンス(リターン)ができていますか？」ということです。</p> <p>投資をするさいに誰もが考えることはいかにリスクを抑えて大きなリターンを得るかということです。個人投資家にとって、投資信託はそのための重要な手段です。しかし、投資信託の購入の際に、それを販売している証券会社や銀行から手数料が課せられ場合が多く、購入後は運用会社からも運用料(信託報酬)を課され続けます。なので、私たちは投資信託による資産運用の際に売買手数料等のコストをもう少し重要視するべきではないかと考えました。そこでまず単純にリスクを抑えて大きなリターンを得られるポートフォリオを考え、次にコストを考慮したポートフォリオを考え、その二つを比べコストに見合ったパフォーマンスができていますかを検証していきます。</p> <p>検証方法は、投資信託の期待リターンやリスクのデータは投資信託を評価する会社として有名なモーニングスターが提供しているものを用いて、そのデータを統計ソフトのRを用いて回帰分析を行います。そして、この検証の目的はリターンで投資信託を判断するのではなく、リスクを含めたパフォーマンスを見ることなのでシャープレシオという指標を用いて、より高いパフォーマンスができていますかを調べていきます。</p> <p>次にここにコストを考慮するとどのような結果になるのかを見ていきます。ここでの検証方法もモーニングスターのデータを用いて、コストを考慮せずに検証したデータとコストを含めたデータで比較し、コストに見合ったパフォーマンスができていますかを調べていきます。</p> <p>そして最終的に検証結果から私たちが調べた投資信託のなかからコストに見合いなおかつ、より高いパフォーマンスをしているポートフォリオを提案したいと考えています。</p>		